

教宣・学習制度化分科会

議長 寺山邦裕 (台東)
書記 石川雅昭 (杉並)
喜多正之 (杉並)

全分会で新聞発行を

永年発行は大幅増の19紙に

参加者は代議員23人、代議員以外の参加者18人の合計41人でした。教宣の提案では、支部教宣



4紙の永年表彰を受けた練馬支部の可児部長 (左)

部員の選出方法、ミーティングのレビュー審査、本部機関紙「けんせつ」の減紙の扱い、本部教宣部会の内容、初心者向けPC機関紙教室の開催について質問。また情報戦略の提案では、国保料引き落としはキャッシュレス決済など進化する中で後手に回らないか、HPの統合とは支部HPを廃止すること、SNS活用の体制構築はいつまでに行なうのか、本部のSNSやHP維持管理の予算はいくらかなどの質問が出されました。学習制度化の提案では、常任研修会の費用補助の金額、労働学校について2年かけてテキストが完結するとはどういふことか、そのテキストは印刷しないのか、支部の労働学校に必要な工夫とは何か、「建設労働のひろば」読者会イメージ、学習制度化委員会の新加入者説明会の開催状況の資料があるか、との質問が出されました。支部経験報告は、足立支部が「新聞づくり学習会」で、パーソナル編集長の学習会を行ない、これから分會機関紙を発行していく条件を作ることができたこと、八王子支部が「全分會機関紙発行に向けた取り組み」で、分會再編で分會機関紙発行が後退したが、分會新聞発行協議や支部機関紙コンクール開催で全分會発行に向けて前進してきたこと、北支部が「北東分會機



石川議長

関紙「北東だより」200号達成祝賀会の取り組みで、100号単位の祝賀会を分會機関紙発行のモチベーションを維持してきたこと、文京支部

がLINE活用の取り組みで、組織強化を目的にLINE E活用を進め、若手組合員との情報伝達ルートが確立でき

が「LINE活用の取り組み」で、組織強化を目的にLINE E活用を進め、若手組合員との情報伝達ルートが確立でき

が「LINE活用の取り組み」で、組織強化を目的にLINE E活用を進め、若手組合員との情報伝達ルートが確立でき

が「LINE活用の取り組み」で、組織強化を目的にLINE E活用を進め、若手組合員との情報伝達ルートが確立でき

職域対策分科会

議長 宮澤和也 (府中国立)
書記 木下大野克彦 (八王子)

共同受注・集団施工に向け

段階を踏んで進める



住宅センター活動を中心とした仕事確保の取り組み報告をする板橋支部の仲間



木下議長

参加者は代議員33人、代議員以外の参加者は15人、来賓1人の合計49人でした。はじめに芳井職域対策部長より挨拶。本部役員を代表して年森書記次長、来賓の徳森全建総連住宅対策部長の挨拶後、議案提案を行いました。総括では、住宅センター職域

参加者は代議員33人、代議員以外の参加者は15人、来賓1人の合計49人でした。はじめに芳井職域対策部長より挨拶。本部役員を代表して年森書記次長、来賓の徳森全建総連住宅対策部長の挨拶後、議案提案を行いました。総括では、住宅センター職域

参加者は代議員33人、代議員以外の参加者は15人、来賓1人の合計49人でした。はじめに芳井職域対策部長より挨拶。本部役員を代表して年森書記次長、来賓の徳森全建総連住宅対策部長の挨拶後、議案提案を行いました。総括では、住宅センター職域

賃金対策分科会

議長 伊藤賢司 (新宿)
書記 山川利春 (柏江)
小田井穰 (柏江)



公契約条例の現場報告をする渋谷支部の仲間

参加者は、代議員24人、代議員以外の参加者19人、来賓3人の合計46人でした。小坂賃金対策部長、松本副委員長の挨拶後、来賓の神奈川建設労連・吉良書記長、東京自治労連・喜入書記長、建設政策研究所・市村専務理事から挨拶をいただきました。議案提案後、足立支部が公契約条例前進への取り組み



山川議長

年収720万円獲得へ

まずは事業所との接点強化

平東村山支部が現場訪問・宣伝行動を報告。本部PAL・イム会長の訴え後、質疑応答に入り、組合員賃金調査と現場調査結果の

平東村山支部が現場訪問・宣伝行動を報告。本部PAL・イム会長の訴え後、質疑応答に入り、組合員賃金調査と現場調査結果の

平東村山支部が現場訪問・宣伝行動を報告。本部PAL・イム会長の訴え後、質疑応答に入り、組合員賃金調査と現場調査結果の

平東村山支部が現場訪問・宣伝行動を報告。本部PAL・イム会長の訴え後、質疑応答に入り、組合員賃金調査と現場調査結果の

平東村山支部が現場訪問・宣伝行動を報告。本部PAL・イム会長の訴え後、質疑応答に入り、組合員賃金調査と現場調査結果の